



第23号  
 発行 平成19年10月10日  
 発行所 文化女子大学室蘭短期大学同窓会  
 室蘭市高砂町3丁目11-50  
 印刷所 株式会社アイワード

## 「閉校に向けて」今、思うこと



同窓会会長 下澤 和枝  
 (旧姓 小室) 保1

今年には悲しいお知らせをしなければなりません。今の一年生が卒業すると同時に(再来年の三月)閉校することが決定されています。正確には二〇〇八年度の学生募集の停止イコール二〇〇九年三月に閉校するという構図です。

私達の母校である文短がなくなってしまうのです。大学自体も長年、存続に向けて努力をしては来たものの、少子化とりわけ十八歳以下の人口減少により、やむなく閉校という決断を下さなければならなかったと我々も理解しています。

何年も前から、室蘭市や市内の企業の経営者と、短大、同窓会との四者会談なども持たれ、いろいろな対策なども考え、実行されましたが、なかなかうまく機能せず、時代の大きな流れの中に飲み込まれてしまったというわけです。

私達も短大の存続を願っていましたが、大学も企業である限り、これを受け止めるしか我々には、なすすべがありません。短大が一つなくなると言う



ことは、そのみならず、大きな意味での文化が一つ消えることに等しいのです。とりわけ地方においては、益々元気がなくなることに、即、繋がってしまいます。本当にこれは大変なことと実感しています。

四十年近く地域の女子短大として四二〇〇名以上の仲間が社会に送り出されて来ました。それぞれの第一線で活躍している人達も大勢いますし、また母親として立派に子育てをして、社会に貢献している大勢のお母さん達がいいます(これは私の持論です)。

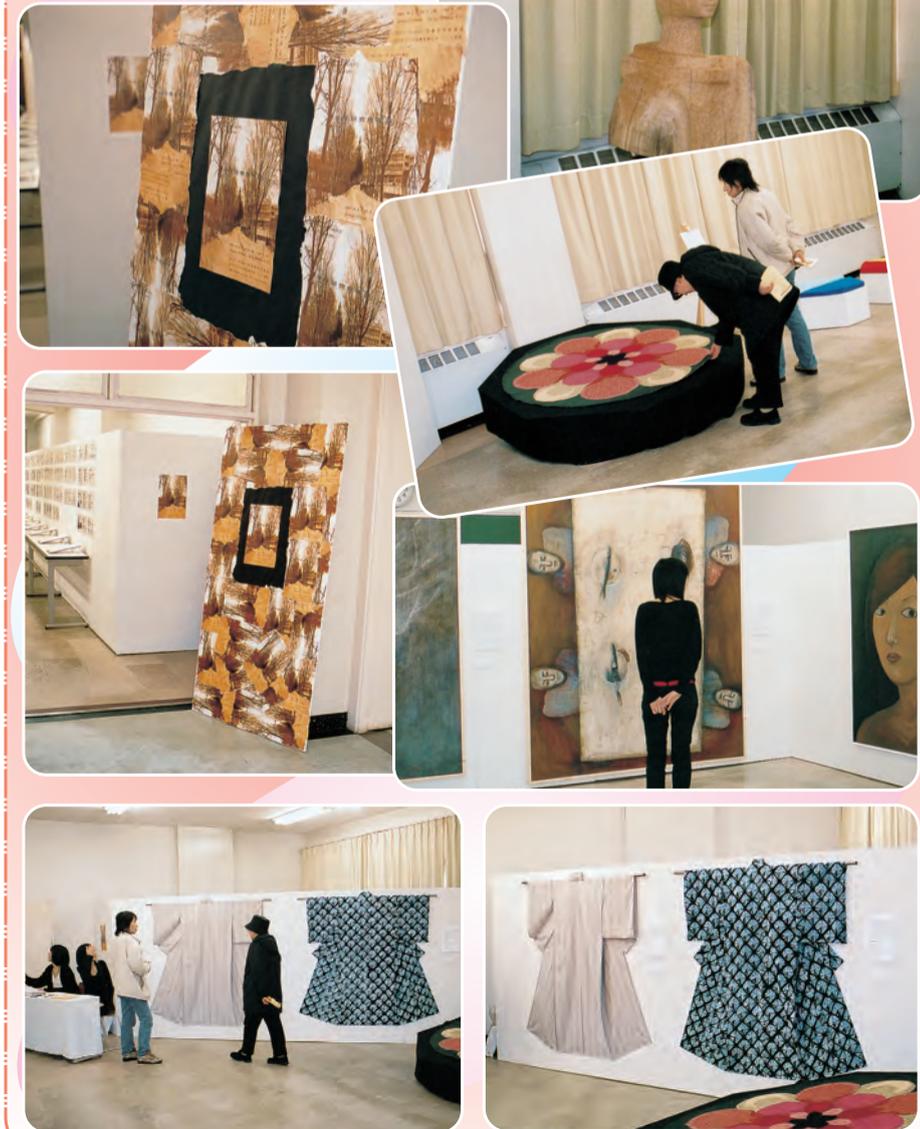
少人数ながら、アットホーム

### 総会のお知らせ

日時 11月3日(土)14:00~  
 場所 短大(教室は当日お知らせします)  
 議題 現状の説明とこれからの同窓会活動について  
 その他

## 学習の成果実る卒業研究会発表展

〈コミュニティ総合学科 平成18年度卒業生〉  
 2月23日~26日、短大でコミュニティ総合学科の卒業研究会発表展がありました。



## 自分の時間割を覚えていきますか?



主事 水野 隆

昨年のコミュニティ総合学科に引き続き保育科も来春から募集停止にするというニュースは、同窓生の皆さんにも強い衝撃と深い悲しみを与えたことと思います。そのような結論を出さざるを得なくなってしまうことを深くお詫びします。

例えば、昭和四十四年(一九六九)四月に開学した室蘭短大が、平成二十一年(二〇〇九)三月に、ちょうど四十年という歳月を経てその歴史を閉じることになります。四十年という歳月が長かったのか短かったのか? ともあれ、残された時間はもうそんなに多くはありません。

先日、研究室の書棚を整理していたら、昭和四十六年度から平成八年度まで二十六年間の授業の時間割がまとまって出て来ました。開学当初の二年度分と途中の昭和五十七年度分が欠けているのは残念ですが、恐らく、開学時には時間割を保存しておくことなど思いもつかなかったのでしょう。昭和五十七年度は室蘭短大の変革の年で、翌五十八年度からはそれまでの服装学科に替わって新しい生活教養科が始まっていますから、準備の忙しさに取り紛れて失念してしまったのかもかもしれません。それにしても、よくもまあ執念深くそれだけ保存しておいたものだ、我がことながらちょっと感動してしまいました。

もっとも、教務部には資料として開学初年度からの時間割が全部きちんと保存されていることが後から判明して、私のコレクターとしての中途半端さが露呈してしまっただけですが、そのかわり、欠けていた年度の時間割をコピーさせてもらいましたので、私の蒐集癖もようやく満足させられるという結果になりました。

三十九年間の時間割を見てみると、それぞれの時を過ごして巣立って行った同窓生の皆さんのことが思われてなりません。そこで育まれた精神とともに室蘭短大が皆さんの心の中につまでもあり続けてくれることを願うばかりです。

### 盛大に今年も 「手作りバザー」を開催！

東京支部との同窓会主催手作りバザーは5回目を迎えますが…もしかしたら今年が最後になるかもしれません。今のところ来年の予測がたたないからです。

今年も同窓生の想いのこもった作品がずらーっと並びます。東京支部からも多くの作品が送られて来ますし、支部の人達も来ます。是非いらしてください。(なつかしい顔にあえるかも知れませんが)

また母校の最後の姿を見にぜひ来て欲しいです。お友達、お誘い合せて来校下さい。

みんなでお待ち致しております。

日時 11月3日(土)  
10:30開店です。(早めにいらしてもOKです。良い物は早く来てゲットしてね。)  
諸事情により、今年は1日のみの開催になります。



### 模擬店出店

11月3日(土)、4日(日)  
お袋の味、特製カレーライスの店「カレーなる一族」  
こちらませひご賞味下さいますようスタッフ一同お待ちしております。

尚、当日及び前日の打ち合わせ等お手伝いいただける方を募集致しております。スタッフが少なく心配致しておりますので、ぜひお手伝い下さい。お願い致します。

お手伝いいただける方は  
ケイタイ 090-2873-9452 下澤  
090-9082-1419 石井  
までご連絡下さい。

## 盛り上げよう! さいご? の文大祭

今年の学園祭(11月3・4日)は、短大にとって特別な意味を持つ。二科(保育科、コミュニティ総合学科)そろっての学園祭は今年が最後になるからだ。来年4月からの在學生は保育科の現一年生39名のみになる。昭和45年の第1回学園祭から38回目にあたる今年が実質的には最後の学園祭になるだろう。

閉校という暗いニュースは学内の空気を沈めがちだが、学生・先生・同窓生が力を合わせて学園祭を盛りあげ、楽しもうと学生指導委員の若菜先生と栗山先生から同窓会への呼びかけがあった。

これを受けて7月5日学園祭実行委員、自治会役員など学生17名と同窓会役員8名は先生を交えて初の会合を持った。あくまでも学生主体の学園祭に、同窓会としてどの様な形で協力できるのか? 親子ほども年の違う後輩達を前に、役員思いばかりが先行してはいけないと言葉を選びながらの話し合いであった。「同窓会として出来る限りの協力をしたいので要望やアイデアがあれば言って下さい」と下澤会長が話し、模擬店への出店など具体的な学生の要望に添って話し合いはすすめられた。

在學生にとって、閉校は思いもかけないショッキングな現実であったらう。学園祭に限らず、在校生がより充実した学園生活を楽しみ、胸を張って卒業していけるようにバックアップするのが、同窓会活動の今後の大きな軸になるだろう。

### 学園祭 メモリアル フォトライブラリー



# Bunka Women's University Muroran J.College Reunion



## TOKYO

## 5 東京支部

### 閉校と閉園を知らされて

支部長 石田 和子 (旧姓 釣巻) 保2

昨年は冷夏で「寒い寒い」と言っていた気がしますが、今夏は猛暑が続き、亡くなられた方もでしてしまいました。あまりにも極端なここ数年の天候は昨今の様々な事象とともにアンバランスを感じ、不安を覚えます。日本のみならず世界的ゆえに、一層実感しています。この会報が届く頃は涼しい風が届けられていることと思いますが?.....。省エネを気にしながらも、この暑さには勝てず、今日もクーラーにお世話になり、涼風に感謝しつつ原稿を書き進めているところです。北海道在住(実家は室蘭です)のときは、クーラーなど無縁の物でしたが、今年は北海道も暑そうですね。

時候の話はこれくらいにして、東京支部も発足から5年目を迎えようとしています。

昨年11月、支部長に就任し、活動してまいりました。そんな矢先でしたが、母校の室蘭短大と付属幼稚園が閉校、閉園になることが決定され報道されたとの知らせを受けました。

会員の皆様方の中には、既にお耳にしている方や今回の同窓会の会報誌を通してはじめて知った方もいらしたと思います。いずれにしても急なことでしたので驚かれたことと思います。

私事ですが、当時、地元保育科のある短大が開校したと聞いた時は、とても嬉しく思いました。幼稚園の先生になるのが小さい頃からの私の夢だったので、地元にて通学できたことは本当に良かったと思っています。短大生活の2年間では、多

くの思い出もでき、また、付属幼稚園には開園から4年間でしたが、勤めさせていただき、結婚してこちらに来るまで短大との関わりを持たせていただきました。

そして、同窓会の東京支部発足にあたり役員として声がかかり、ここ数年、再び短大に足を運ぶ機会を得、同窓会の活動を通して、また多くの思い出をつくる事ができました。.....と感傷にひたるのはまだ早いですね。

「母校の活性化に繋がれば」と微力ながらも文大祭のバザーの活動を通して、会員の皆様のご協力を頂きながら、エールを送ってきました。この知らせは私たち役員にとっても大変驚きであり、ショックではありましたが、今年の11月3・4日の文大祭に向けてバザーは例年通り行うとのことです。私たち役員も気持ちを再度一つにして活動していきたいと思っております。

今後の同窓会の在り方につきましては本部、支部共に話し合いの最中ですので11月の室蘭での総会開催までには何らかの方向性が出されていることと思います。東京支部会員の皆様も是非参加して頂ければと思います。

支部総会はその後の状況を鑑みまして開催したいと思っております。今後とも、支部会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



### 短大に思いを寄せて

小野塚博子 (旧姓 宮島) 教5 24期

「文短が閉校する」と聞き、様々な思いが胸によぎりました。あの18歳から20歳の青春時代を送った文短での2年間は、私にとって忘れがたいものだからです。

15年前、東京育ちの私が初めて訪れる室蘭の地で、親元を離れ期待と不安を胸に文短に通い始めました。雪どけ後の寂しい景色が、花でいっぱいになる頃には、かけがえのない友ができて、いつも温かく(時には厳しく)ご指導くださった先生方のお陰で、楽しい学生生活になりました。

朝から暗くなるまで授業を受け、夜は遅くなるまで課題をこなす一方で、時間をみつければ友人とご飯を食べ、夜更けまで語り合ったり、スキーや観光に行ったりと充実した日々でした。

忘れられない思い出の一つが2年生の文化祭でのファッションショーです。自分達で企画した舞台に何ヶ月もかけて自分で制作した衣装を着て立ちました。若さあふれるパワーや周りの協力により一つの舞台を作り上げたときの達成感は大きなものでした。

今は子育てに追われる毎日ですが、知人から仕事きたり、子供のダンスの発表会の衣装を任せ

てもらうのも文短で共に学んだ事が私の原点にあるからです。

私をはじめ、文短で共に学んだ友人の多くは北海道を離れています。青春を過ごした学び舎を訪れたいと思っていたことと思います。

閉校の知らせは残念でありませんが、皆の心の中では、いつまでもあの笑い声やガムシャラに勉強した輝かしい学生生活と共に文短が在り続けていくことでしょう。



「ポーション」というブティックもやっていました。その当時はビエール・カルダンといえば日本で全盛期でした。文化の出版物と云えば『ミセス』『装苑』等、婦人雑誌に私が縫った洋服が出るのを楽しみにしておりました。樋泉先生は文化女子大学を退職された後、能を習っていたこともあって、デザイナーの先生と一緒に能を観賞する機会を得ました。久しぶりにお目にかかった先生から「すっかり東京の人になりましたね。」と言われ、たしかに三十年を過ぎる



### 会計報告

平成18年度決算報告 (H18.4~H19.3)

収入	金額	支出	金額
繰越金	424,739	会議費	5,025
支部費 本部より	61,000	通信費	200
利息	218	支部活動費	10,000
		交通費	
計 (イ)	485,957	支部行事費	29,624
		バザー材料費 及び作品送料等	
計 (ロ)		計 (ロ)	44,954
収支差引次期繰越額(イ)-(ロ)		441,003	

平成18年度会計監査の結果、相違ないことを認めます。  
平成19年4月1日

会計監査 綿引 恵子  
山中 久子

11月3・4日

### 文大祭に行ってみませんか バザーにも協力してくださいね

母校の室蘭短大が閉校になることが決定されました。でも...でも...母校のために、後輩のために、少しでも役立っていただけるなら、支部役員も心新たに「できる時 できる事を できるだけ」を合言葉に、今年も11月の文大祭に向けて力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。一人一点でも結構ですので、多くの方々からの作品のご協力をお待ちしております。そして、余裕があったら、青春時代を過ごした学び舎を訪れませんか。  
\*作品は手作りとし、どのようなものでも結構です。  
\*締め切りは10月20日(土)とさせていただきます。  
\*送り先 〒332-0016 埼玉県川口市幸町1-4-28

内田 かよ子  
TEL048(256)6896



### 短大時代

3

### 文短大を卒業して

山中久子 (旧姓 小浦) 服2

室蘭より東京に、三十年程前、樋泉先生の紹介でアトリエ・カルダンに就職をいたしました。デザイナーの先生はフランスで修行を積み、ビエール・カルダンのチーフをやっていた。日本に戻り、日本橋の高島屋のデザイナーとして、目白に

と、住めば都で、東京の便利さに慣れてしまいました。その後、「クチュール水野」へ。水野正夫先生は文化女子大の教壇に立たれておりました。水野正夫先生が室蘭短大でNHKと協賛で「トックとファッションショー」を行い、室蘭民報にも大きく取り上げられたのを拝見しました。私の今までの歩みは樋泉先生を通して、二人のデザイナーとの係わりで現在に至っている様な気がします。室短文化祭のバザーのお手伝いに参加をし、ものを作り上げる楽しみの一つと、期を越えた友情ができたことに感謝しています。

### 連絡先

東京支部は文短同窓会の窓口として関東近辺の皆様からの情報を受けております。疑問・質問・何でもお気軽にご連絡ください。

TEL・FAX 0294(37)2315  
石田 和子まで

# 幼稚園存続を願って!

23期生 清野真紀子

私には今三人の子供がいます。そして長男が附属幼稚園の年長で通っています。毎朝鳥の鳴き声がする玄関、広い園庭で先生やお友達と走り回り、夏は水遊び、冬はスロープで雪遊び…と一年中季節を感じながら自然いっぱいの幼稚園。毎日送迎で顔を合わすお母さん達との信頼関係が生まれ、玄関から笑顔で出てくる子供達、それを後ろから見守ってくれている園長先生と先生達。みんなみんな幼稚園が大好きです。そんな中突然二年後に短大閉校と幼稚園閉園の話。その場に集められた父母の驚きとショック…涙が溢れて言葉になりませんでした。

「こんなに素敵な幼稚園は室蘭には絶対ない! 無くしてはいけない!」全員同じ思いでした。そこで私達は立ち上がりました。高校生の進学先が無くなってしまおう! 幼児の学びの場が失われてしまおう! 地方にこそ短大は必要なのではないのでしょうか?! 手探り状態で始めた署名活動、市会議員に協力を求め室蘭市、近郊市町村全体で必死に集めています。新聞社にも記事してもらいました。私の母校、娘も入学させたかった短大、そして幼稚園を存続してほしい…そう願っています。署名等協力していただける方、ご連絡ください。



## 学生時代を振り返って 最後のファッションショー

教養学科 服装デザインコース卒 齊藤 奈緒美

社会人になって3年目になりますが、私はときどき学生時代のことを思い出します。毎日課題に追われ、ファッションショーの準備もあり、バイトもあり忙しい毎日でしたが、すごく充実している毎日でした。ファッションショーは私の人生にとって一番大切な思い出です。3人しかいなかったけど、絶対成功させよう!とがんばってきました。文化女子短大は私にとって最高の学校です。先生方にも大変お世話になりました。閉校と聞いてすごく残念ですが、いつか学生たちがたくさん集って、私の母校でまたファッションショーが開催されることを願っています。本当にお世話になりました。



「寄ってらっしゃい御用とお急ぎではないお方」ひと昔前の縁日では客を呼び込む香具師の口上があちらこちらで聞こえてきた。傷に良く聞くというガマの油やハブ酒、バナナのたたき売り、台所用品、腰ベルト、スカーフ、闇市さながらの風情であった。(注:私は闇市を知らない)

この夏、親友のO女史が、故郷が元気になって欲しい等々の思いで、二度目の夏祭り出店とあいなった。経費諸々を含めて黒字になるのは十年後であろうか? 私も三会場を手伝った。大した手伝いにはならないので、人間ウォッチングを楽しんだ。あちこちのお休み所では、ビールを片手に氣勢をあげているのは圧倒的にオバちゃん。猫も杓子も限りメイクをしている女子高生。男か女か解らないジャニーズ系の中学生。子育て中の母親のあまりにも構わないその服装と体型。背中に哀愁の漂う中年男性の腕の中には小型犬。行き交う人々を眺めている限りでは、日本は平和だなとつくづく思う。しかし日々の生活の中では、リストラ、介護、病氣、受験など数えあげたらキリがない程、問題や悩みは沢山。でも今宵夏祭りの時だけは日頃の憂さを忘れて、小銭を握りしめ目を輝かせていたあの可愛かった少女時代に戻りたいものだ。

「寄ってらっしゃい見えてらっしゃい! 最後の文大祭だよ!」

# 会計報告

18年度会計報告 平成18年4月~平成19年3月まで

収 入	金 額	支 出	金 額
繰越金	1,049,061	支部費(18年度分)	61,000
同窓会費	480,000	卒業記念品	19,950
同窓会費(過年度卒)	0	会報印刷、発送一式	621,760
バザー売上金	203,850	寄付金	100,000
サロン売上金	3,800	バザー関係経費(本部)	18,779
利息、雑収入	4,750	“(支部)	29,624
		サロン関係経費	5,303
		短大自治会へ寄付	20,000
		会議費	32,964
		通信費	17,366
		交通費	90,600
		雑費	4,880
(イ) 計	11,151,461	(ロ) 計	1,022,226
収支差引き残高 (イ) - (ロ)		¥10,129,235	

監査報告  
監査の結果、適正に執行されていたことを認めます。  
会計監査 福士 牧子 佐々木洋子

## 「保育士」登録申請について 最終のご案内です! 問い合わせ先変更

〈保育士登録の各問い合わせ先〉  
 保育士登録申請書入手・質問 登録事務処理センター  
 (住所) 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-23-1  
 登録専用電話 03-5485-3150 (FAX)03-3797-7892 (HP)http://www.hoikushi.jp  
 保母資格取得証明書発行受付 短大 教務課  
 (住所) 〒050-0072 北海道室蘭市高砂町3-11-50  
 (電話)0143-44-0561(代表) (FAX)0143-47-8039 (e-mail)kyoumu@bwmjc.ac.jp

再来年以降はここで受け付けられなくなります。(以後の連絡先は今のところ未定です)まだ登録していない方は、今年か来年中に登録申請を済ませることをお勧め致します。



物静かな雰囲気を持ちつつ、しっかり者の印象がありました。今はイギ

記念誌となる「おもいで」の表紙は、二期の卒園生が担当してくれました。幼稚園にいた頃の彼女は、



## 附属幼稚園だよ!

附属幼稚園園長・保育科12期 藍原 佳子

昨年十月二十一日、附属幼稚園の三十歳の誕生日を祝う会が、中島町の蓬峽殿で開かれました。幼稚園関係の保護者や職員が集まる中、懐かしい人との対面に喜びの声が上がり、あつという間の二時間を過ごしました。

そして今年三月。附属幼稚園にあって、とてもショックなニュースを保護者に伝えなければならなくなりました。附属幼稚園の母体となる室蘭短大保育科の募集停止です。それに伴い、幼稚園の二年先後の存続が保障されないという話です。大きな、大きな衝撃を関係者すべて

が受けましたが、時は三月。すぐに「卒園式」があり、月が変われば「入園式」がやってきました。それぞれの立場で、それぞれの不安を抱えながらの新学期でしたが、そんな中でも、子ども達の毎日があり、いつも元気いっぱいでした。私たち職員は、あらゆる不安を吹き飛ばしてくれるほどの元気パワーに助けられながら、一学期を締めくくってお泊り会行事を終えました。

今、保護者が声を上げ、短大と附属幼稚園の存続を求める署名活動が続いています。先が見えない不安はなおも続いています。私達職員に出来ることは、今いる子ども達との時間を大切にしていけることだと思っています。毎日毎日を過ごしていこう

# お知らせ

## 附属幼稚園が存続されることが、9月7日の本校理事会で決定されました。

幼稚園の保護者やOB達の署名活動の結果、17000人以上の署名を理事長に届けて、再考されました。附属幼稚園は今年も園児募集をすることになりました。

## 主事の水野隆先生が9月末日付で退官されました。

開学当初から長い間本当にありがとうございました。次期主事は青柳宏先生 がなられます。

本当に残念ですが、再来年の三月には閉校という現実が待っています。曲がりなりにも、ここまでやって来られたのは、スタッフみんなの「どうかしなければ」との思いが一つになったからだと思います。「すみれ」の向こうに見える多くの仲間達を想い描いて作る会報も、あと二回の発行を残すのみになりました。会員のみなさまにとって、いつまでも心に残る会報「すみれ」であって欲しいと願っています。

## 編集後記

## 水芭蕉

北村 啓子(旧姓 楠本) 保1